



義務教育学校 曾爾小中学校だより

令和5年(2023)2月1日
編集発行責任者 森川 敏和

学校教育目標

「心豊かでたくましく、自ら学ぶ意欲をもち、ふるさとを大切にすることの育成」

時間を大切に！

～ 自分の時間とみんなの時間 ～



早いもので、もう2月になりました。9年生卒業式や修了式まであと2ヶ月足らずです。4月から皆さんは、ひとつ進級して新しい学年となります。また、9年生は新たな環境での生活がスタートします。今回は、時間について考えたいと思います。

世界中の全ての人に平等に与えられているものに「時間」があります。1日は24時間。その時間をどう使うかが、とても大切です。

ただだらと、何もせず時間を使ってしまふのか、逆に、計画を立てて大切に使うのか。1日24時間の中身をどう使うかは、みなさん次第です。その積み重ねによって、その人の人生までもが変わっていくと言われています。「時間」には「自分の時間」だけでなく、もう一つ「みんなの時間」があります。

大勢の人が一緒に使う時間のことを「みんなの時間」といいます。たとえば、教室で勉強している時間、給食の時間、掃除の時間などいろいろあります。このような時間に、遅れてみんなを待たせたり、忘れ物やおしゃべりしたりなどして迷惑をかけると、周りの人の時間、つまり「みんなの時間」を無駄に使っていることになってしまいます。「自分の時間」を大切にすることはもちろんそれ以上に「みんなの時間」を大切にしたいと思っています。

授業参観・支部懇談会・学年懇談会 1月16日

1月16日(月)は、授業参観・支部懇談会・学年懇談会にご参加いただきありがとうございました。新型コロナウイルス感染防止対策を講じながらではありますが、子どもたちの学校生活の様子を参観していただけたのではないかと思います。また、支部懇談会・学年懇談会では新年度のPTA役員・学年委員を選出していただきありがとうございました。新旧役員引き継ぎを2月24日(金)に予定しております。後日案内をお渡しいたしますのでよろしくお願ひします。



かやぶき職人講座 4年～7年校外学習

国立曾爾青少年自然の家から「かやぶき職人 相良育弥さんとの交流プログラム」の案内があり、1月20日(金)に4～7年の児童生徒がかや刈り・束づくりを体験しました。昔の家の屋根は、ススキでつくられており、これらを「かや」といいます。曾爾高原は、曾爾村の人にとって大切な「かや場」でした。ススキは1年かけて成長します。春に山を焼き、秋に手入れをし、冬にススキを刈ります。草原は放っておくと木が生えて森になります。曾爾高原がずっとススキの草原なのは人の手で手入れをしているからです。講師先生と草原を歩き、一緒に「かや刈り」をしたことは、ススキがどのように人々の暮らしに役立ってきたのかを知る良い機会になりました。かやぶき、かや刈りは、2020年にユネスコ世界文化遺産に認定されています。

